

目次

- 1. 改築の経過..... 2
- 2. 杉並第一小学校の沿革..... 3
- 3. 杉並第一小学校の既存校舎の規模と整備時期..... 4
- 4. 移転用地..... 5
- 5. 土地区画整理事業による土地の区画形質の変更及び都市計画情報..... 6
- 6. 土地区画整理事業・地区計画による道路・歩道の整備..... 7
- 7. 杉並第一小学校を中心とした土地区画整理事業・地区計画スケジュール（予定）..... 8
- 8. 杉並第一小学校改築検討懇談会..... 9
- 9. 小学校標準建物面積と杉並第一小学校の児童数等の将来見込..... 10
- 10. 子どもの声アンケート ・ あさがやまちづくりセッション（テーマ：杉一小）..... 11
- 11. 杉並第一小学校改築基本方針..... 12
- 12. 杉並区立杉並第一小学校併設 1 施設移転改築工事設計等業務委託公募型プロポーザルの実施..... 13
- 13. 校舎配置案ごとの特徴比較..... 14
- 14. 学校校庭の人工芝整備..... 19
- 15. 諸室配置（案）..... 20
- 16. 立面・断面図..... 23
- 17. 昇降口から大階段を見る内観イメージ..... 24

1 改築の経過

(1) 改築に至る経緯

明治8年に開校し、今年度、創立150周年を迎えた杉並第一小学校は、長い歴史と伝統を持ち、地域の教育力を組織化した学校支援本部との協働による特色ある教育活動が全国的にも高く評価されている学校です。

一方で、昭和32年から順次鉄筋コンクリート造に建て替えられた既存校舎も、現在築67年を経過しつつあり、老朽化に伴う改築時期を迎えています。

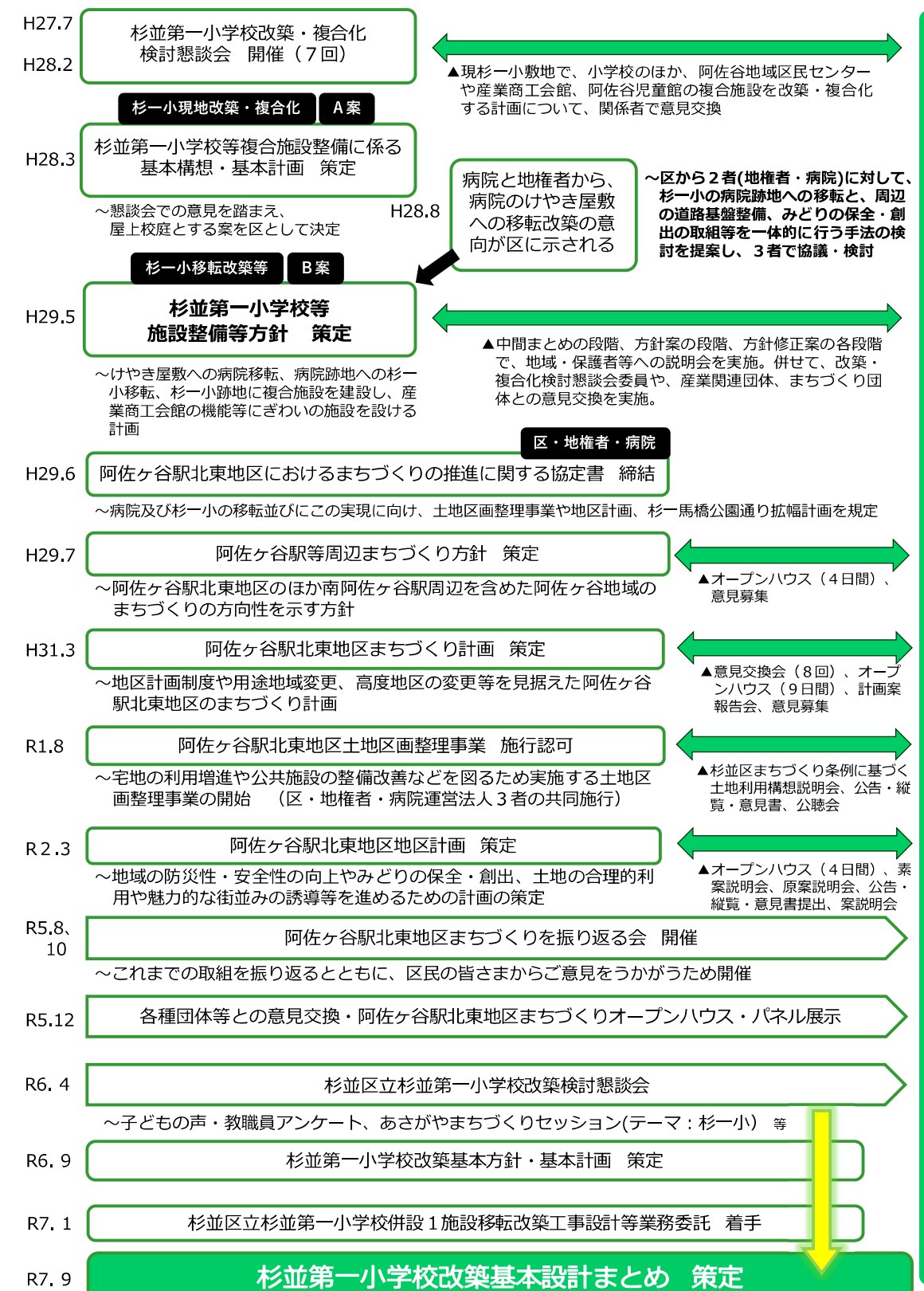
当初、区では、平成26年3月に「区立施設再編整備計画（第一期）（平成26年～33年度）・第一次実施プラン（平成26年～30年度）」を策定し、杉並第一小学校等複合施設として、その第一次実施プランの具体的な取組の一つとして計画化し、阿佐谷地域に存在し、学校と同様に老朽化等の課題がある阿佐谷地域区民センター及び産業商工会館の集会関連機能を集約することを基本に、学校の老朽改築に合わせて移転・複合化による整備を図ることとしました。

しかし、平成28年に、近隣の総合病院とけやき屋敷の地権者から、病院のけやき屋敷への移転改築の意向が区に示され、当該計画と合わせた道路基盤整備等に区が参画し、杉並第一小学校を総合病院跡地周辺地に移転改築することで、将来に向けた教育環境の向上、首都直下地震発生の切迫性を踏まえた地域の防災性の向上及び土地利用の見直しによる民間と連携したにぎわいの創出などを総合的に考慮し、平成29年5月に「杉並第一小学校等施設整備等方針」を策定し、土地区画整理事業に含め、必要な認可や地区計画の都市計画決定などを行っていく運びとなりました。

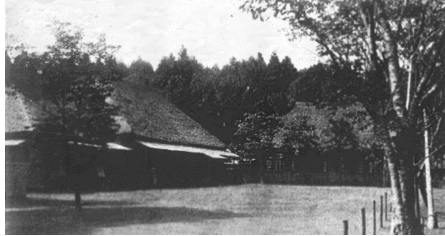
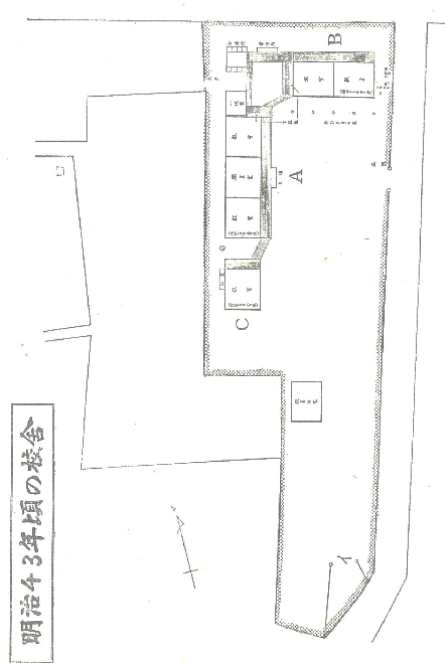
その後、区は「阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり方針」を策定し、8回の意見交換会、4回のオープンハウスを開催し、地域の方々の意見を伺い反映させ、平成31年3月に、方針を踏まえた具体の計画である「阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり計画」を策定しました。

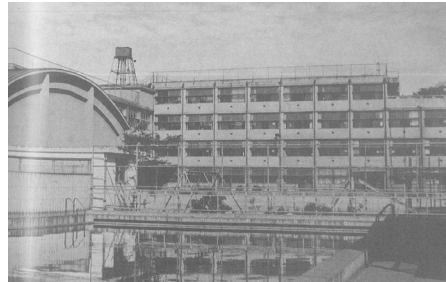
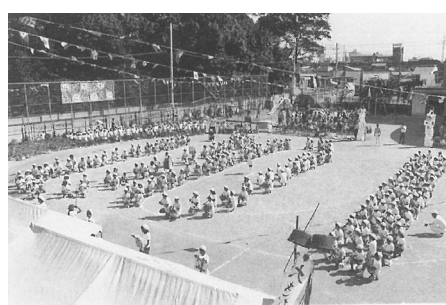
また、令和元年から、都市計画法やまちづくり条例に基づく説明会等の手続きを経て、阿佐ヶ谷駅北東地区地区計画等の都市計画決定をするとともに、土地区画整理事業の施行認可を取得して仮換地指定を行い、区民の意見を伺いながら丁寧に事業を進めるとともに、令和6年4月から、学校関係者、地域関係者、学識経験者等で構成する「杉並第一小学校改築検討懇談会」を開催し、改築基本方針の策定をととしてプロポーザル方式により設計事業者を選定し、平面計画等を含む改築基本設計の策定に向けて取り組んでまいりました。この度、これまでの検討状況を踏まえて、まとめを行うものです。

(2) 改築に向けた取組



2 杉並第一小学校の沿革

年 表	
明治 8 年	第一大学区東京府管内第三中学区第九番公立桃園学校第一分校として、馬橋清見寺を仮校舎に充てて開設。 児童数 55 名
明治 9 年	独立して桃野小学校となった。(創立)
明治 17 年	現在地に新校舎を建築し移転。 児童数 122 名
明治 35 年	桃野尋常高等小学校と改称。 児童数 1,959 名
明治 43 年 3 月	父兄懇談会・学芸会・展覧会を開催。(以後毎年) 6 月、教室不足のため、18 坪の校舎一棟を増築。
大正 2 年	36 坪の校舎 1 棟を増築。
大正 13 年	北校舎西寄りの 4 教室を増改築。
大正 14 年～15 年	旧校舎の紙障子をガラス障子に、欄間をガラスに改修。 8 月、杉並第一尋常高等小学校と改称。徽(き)章を制定。 9 月、現東棟校舎北寄 6 教室を増改築。12 月、仮校舎としてきた天祖神社社務所を返却 西校舎 2 階建ての 8 教室を増改築。 平屋旧校舎を元農園であった敷地へ移転し、草ぶき屋根をトタンぶきに改修
	   

年 表	
昭和 13 年	杉並第一尋常小学校となった。 児童数 1,008 名
昭和 22 年	杉並区立杉並第一小学校と改称。
昭和 32 年	RC 造化への改築工事開始され、現西校舎 3 階建てから順次改築。 児童数 1,140 名
昭和 40 年	RC 造化校舎の改築が進み、プールを整備し完成。 児童数 629 名
昭和 43 年	防球ネットの設置。
昭和 50 年	創立 100 周年を迎え、記念碑建立。 児童数 690 名
昭和 52 年	体育館の舞台やトイレなどを増築。 児童数 710 名
平成 4 年	給食室と校庭を改修し、コンピュータ教室を整備。 児童数 365 名
平成 23 年	耐震補強工事完了。 児童数 422 名
令和 7 年	杉並区立杉並第一小学校併設 1 施設移転改築工事設計に着手。 児童数 314 名
創立 150 周年	
	    

3 杉並第一小学校の既存校舎の規模と整備時期

各校舎の整備時期

従前木造校舎

昭和32年 RC造 西校舎完成

昭和35～36年 RC造 北校舎・体育館完成

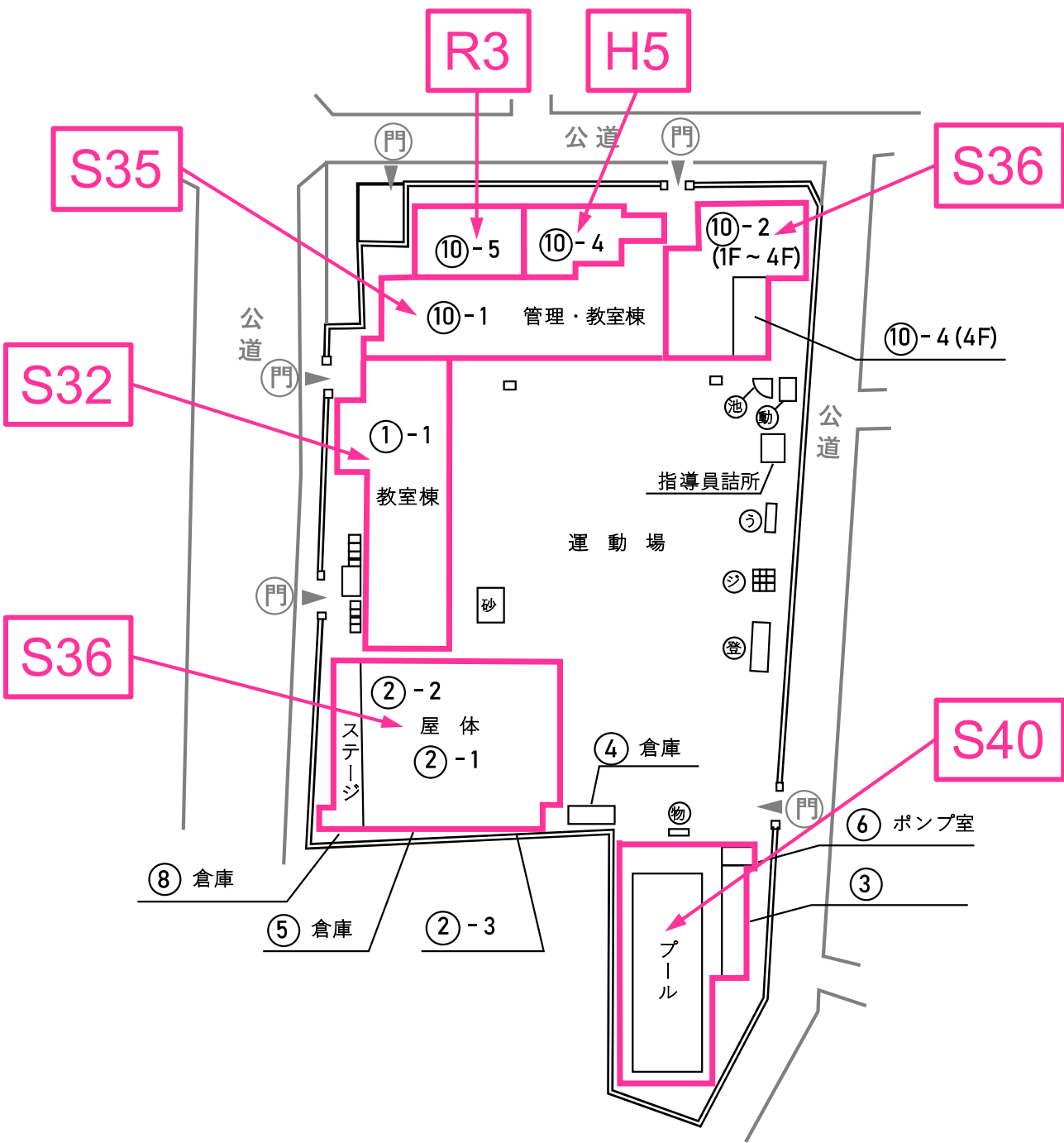
昭和40年 屋外プール完成

平成23年 校舎耐震補強工事完了

令和3年 給食室減増築工事

現在の校舎規模等

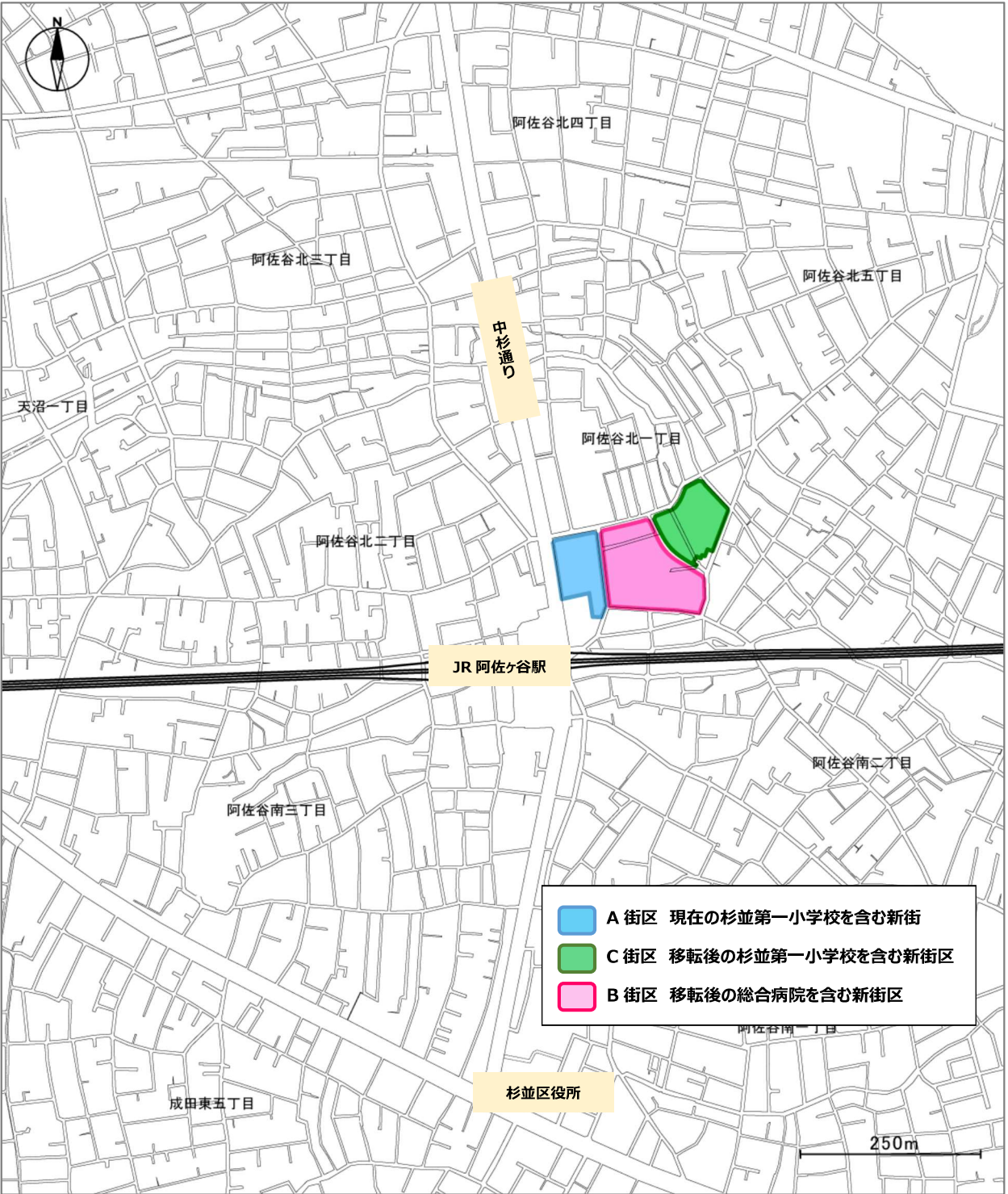
	敷地面積	校舎面積	運動場面積 (有効)	体育館面積	プール
杉一小	5,805㎡	3,788㎡	約1,800㎡	544㎡	25m×10.5m
区内小学校 平均	9,345㎡	5,520㎡	約4,300㎡	745㎡	—



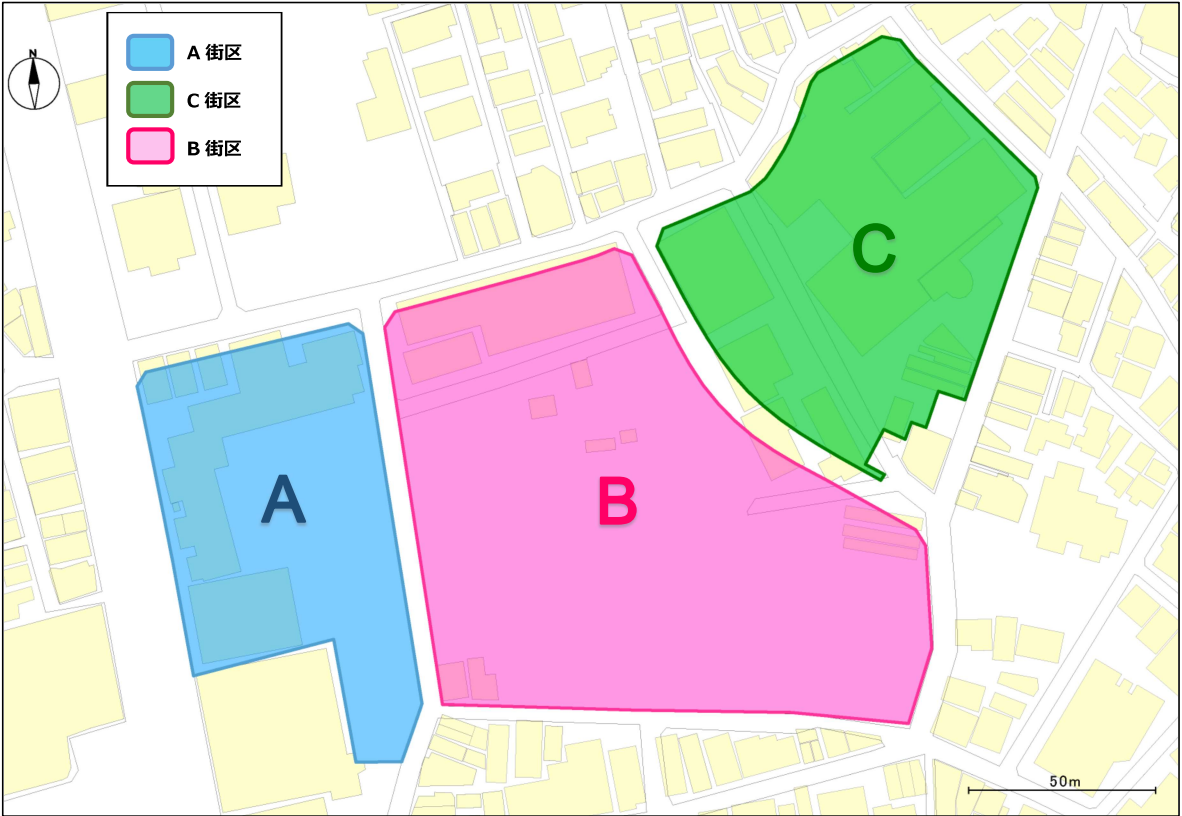
4 移転用地

(1) 案内図

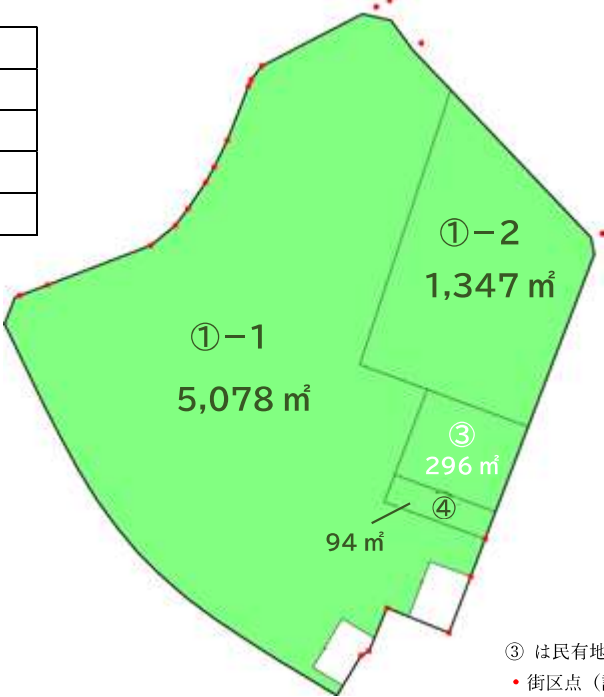
阿佐ヶ谷駅北東地区土地区画整理事業等における区域変更、道路拡幅や新設・廃止等と合わせて行われ、街区形状が変わるため、右凡例のとおり計画街区をA～Cに3分割して図示する。



(2) 移転用地 ※C街区内



①-1	5,078 m ²
①-2	1,347 m ²
③	296 m ²
④	94 m ²
合計	約 6,815 m ²



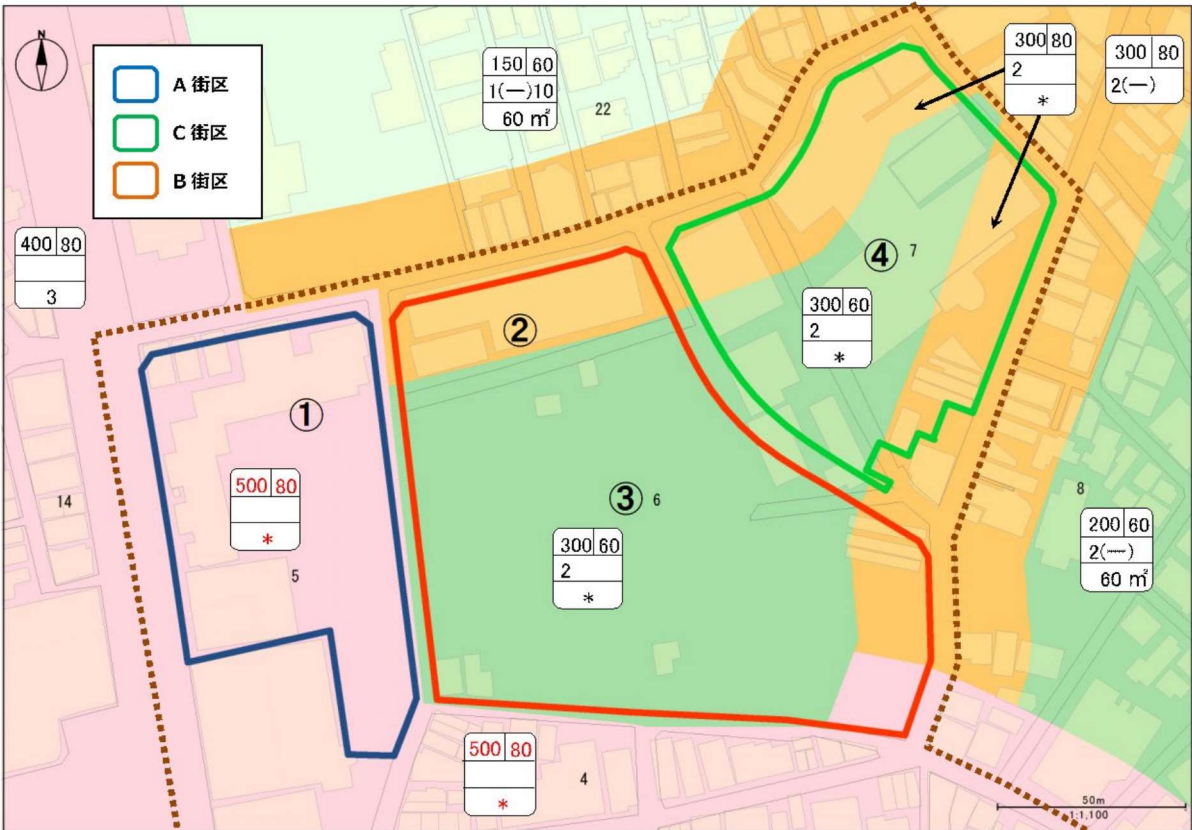
③ は民有地を借りて用地とする。
・ 街区点 (計画)

5 土地区画整理事業による土地の区画形質の変更 及び 都市計画情報

阿佐ヶ谷駅北東地区土地区画整理事業等における区域変更、道路拡幅や新設・廃止等と合わせて行われ、街区形状が変わります。

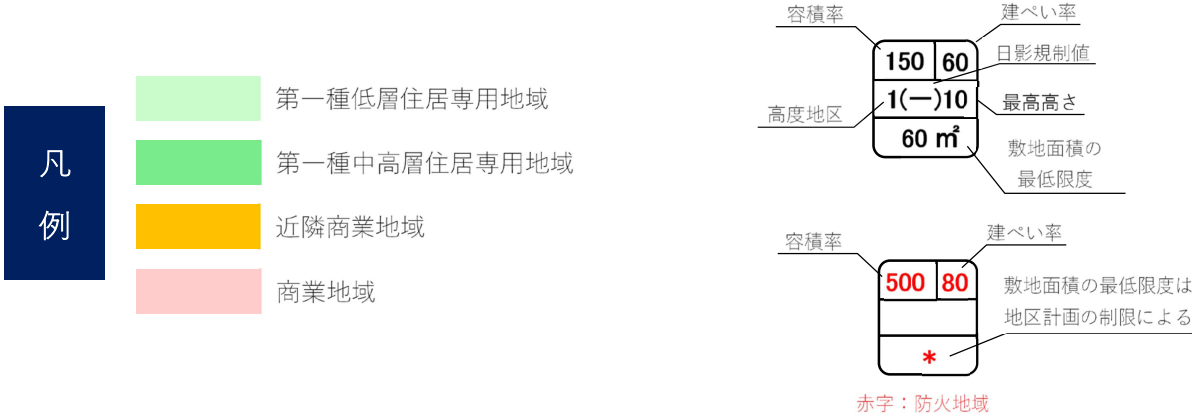


都市計画情報（用途地域）

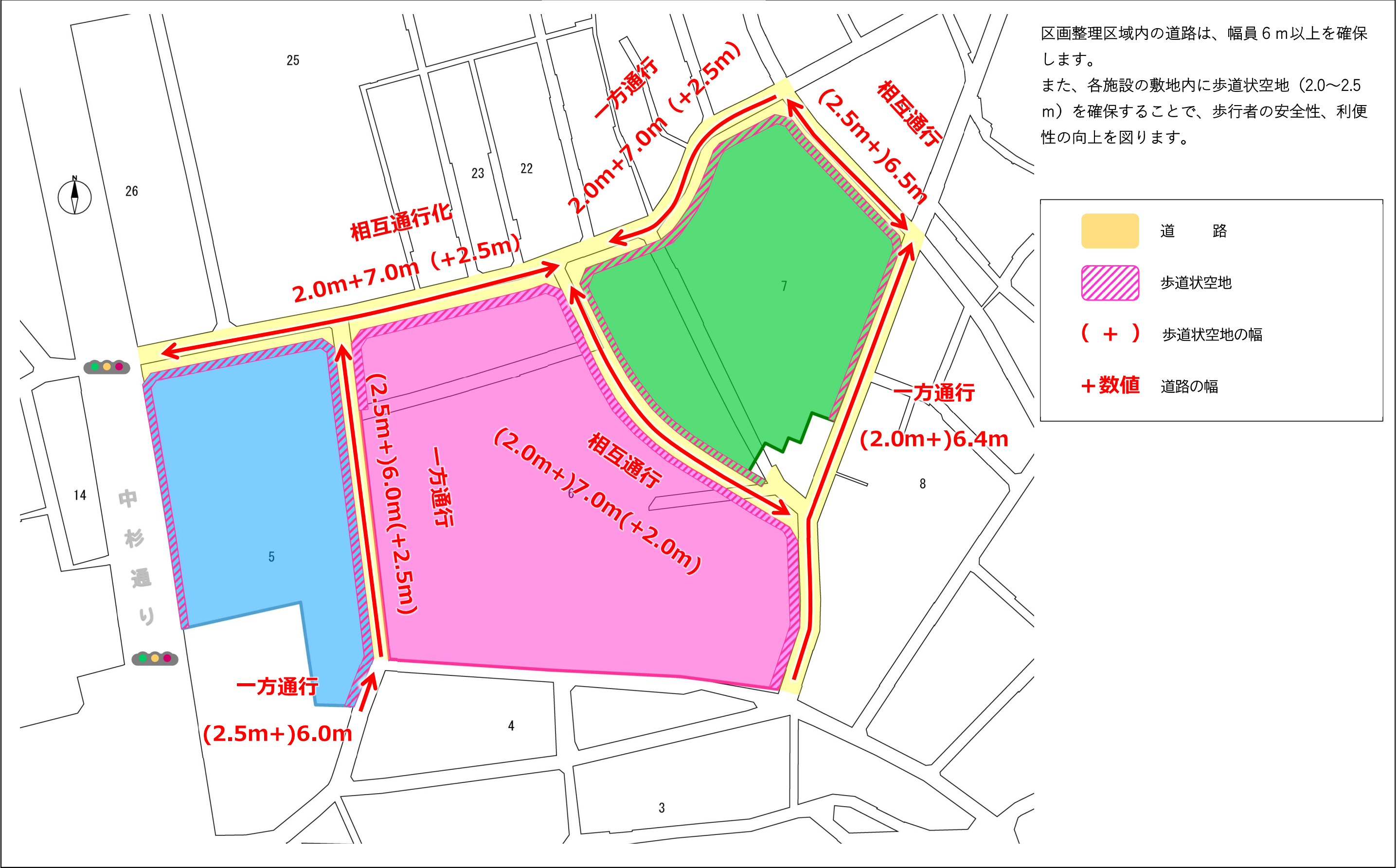


【令和 3 年地図:C 街区は学校用地に合わせて表記、歩道状空地部含む】

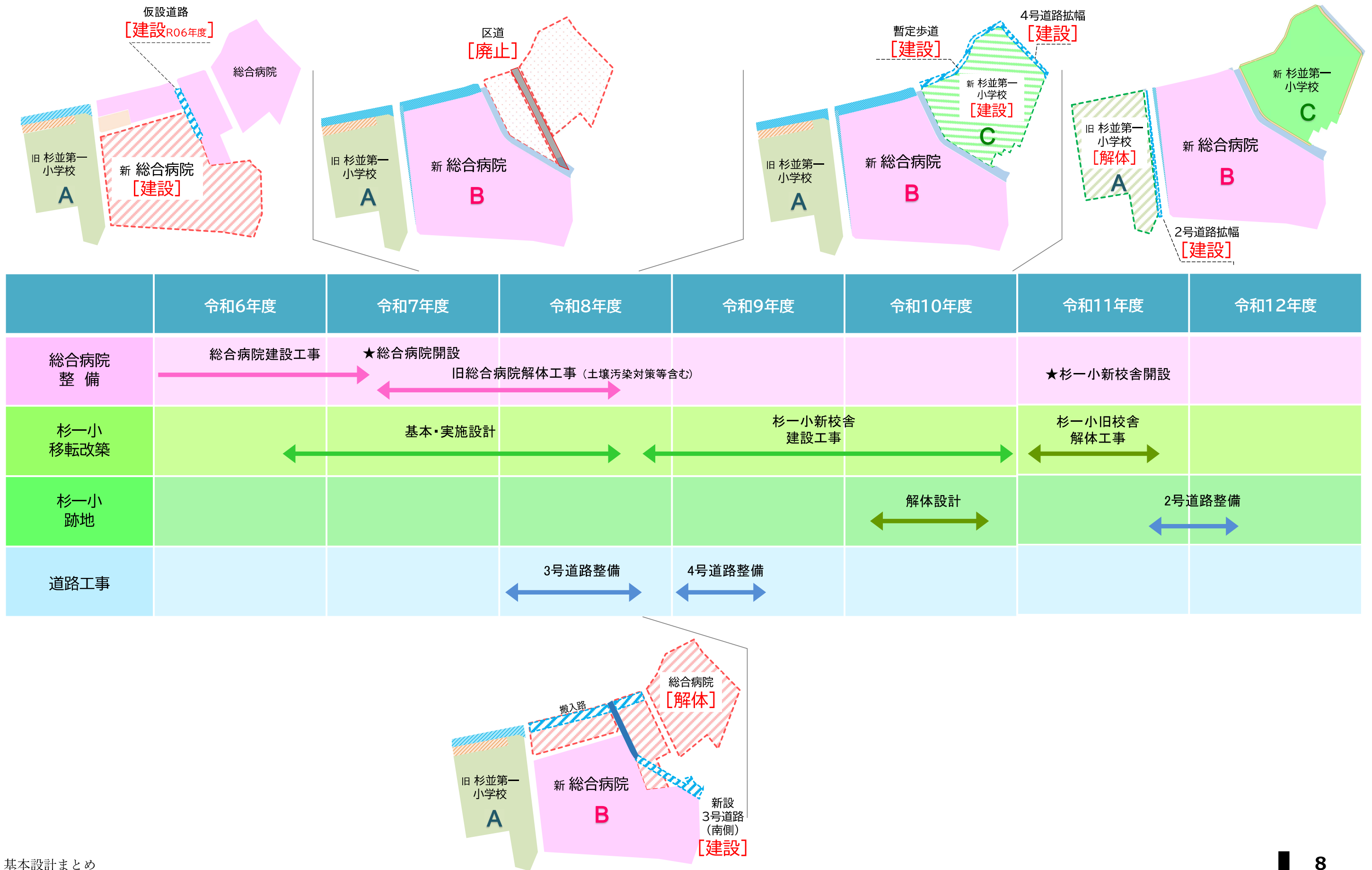
	用途地域 (東京都決定)	建ぺい率	容積率	敷地面積の 最低限度	高度地区	防火地域及び 準防火地域
①	商業地域	80%	500%	—	—	防火
②	近隣商業地域	80%	300%	—	第 2 種	準防火
③	第一種中高層 住居専用地域	60%	300%	60 m ²	第 2 種	準防火
④	第一種中高層 住居専用地域	60%	300%	60 m ²	第 2 種	準防火



6 土地区画整理事業・地区計画による道路・歩道の整備



7 杉並第一小学校の移転改築と土地区画整理事業・地区計画スケジュール(予定)



8 杉並第一小学校改築検討懇談会

(1) 目的

杉並第一小学校の改築に当たり、校舎改築における基本的な方針に関すること、校舎改築の基本設計に反映する必要な事項に関することについて、広く意見を聴くこと。

(2) 委員名簿

団体名等	氏名	団体名等	氏名
首都大学東京 名誉教授	深尾 精一	学校運営協議会	岡田 円治
早稲田大学 創造理工学部 建築学科 教授	高口 洋人	学校運営協議会	竹越 不可止
震災救援所	近藤 浩	学校運営協議会	松尾 純一
阿佐谷地区町会連合会	田中 昭一	杉並第一小学校 P T A	遠藤 美穂子
阿佐谷北一丁目町会	宇都野 正朔	杉並第一小学校 P T A	長谷川 篤男
阿佐谷北二丁目町会	佐藤 文夫	杉並第一小学校 P T A	武田 幸彦
阿佐谷北三丁目町会	徳田 紀美子	学童クラブ保護者	松嶋 彩
進交会	細田 宗宏	校長	山口 祐美子
学校支援本部	伴野 博美	副校長	杉田 英昭
学校運営協議会	村上 徹也	副校長	小島 昭博



※ 青少年委員については空位

(3) 区事務局

教育委員会事務局 学校整備・支援担当部長	都市整備部 まちづくり担当部長
教育委員会事務局 学校整備課長	都市整備部 拠点整備担当課長
教育委員会事務局 学校整備担当課長	危機管理室 防災課長
教育委員会事務局 学校支援課長	子ども家庭部 学童クラブ整備担当課長
教育委員会事務局 学校整備課 教育施設計画推進担当係長	都市整備部 市街地整備課 拠点整備係長
教育委員会事務局 学校支援課 新しい学校づくり担当係長	子ども家庭部 児童青少年課 計画調整担当係長

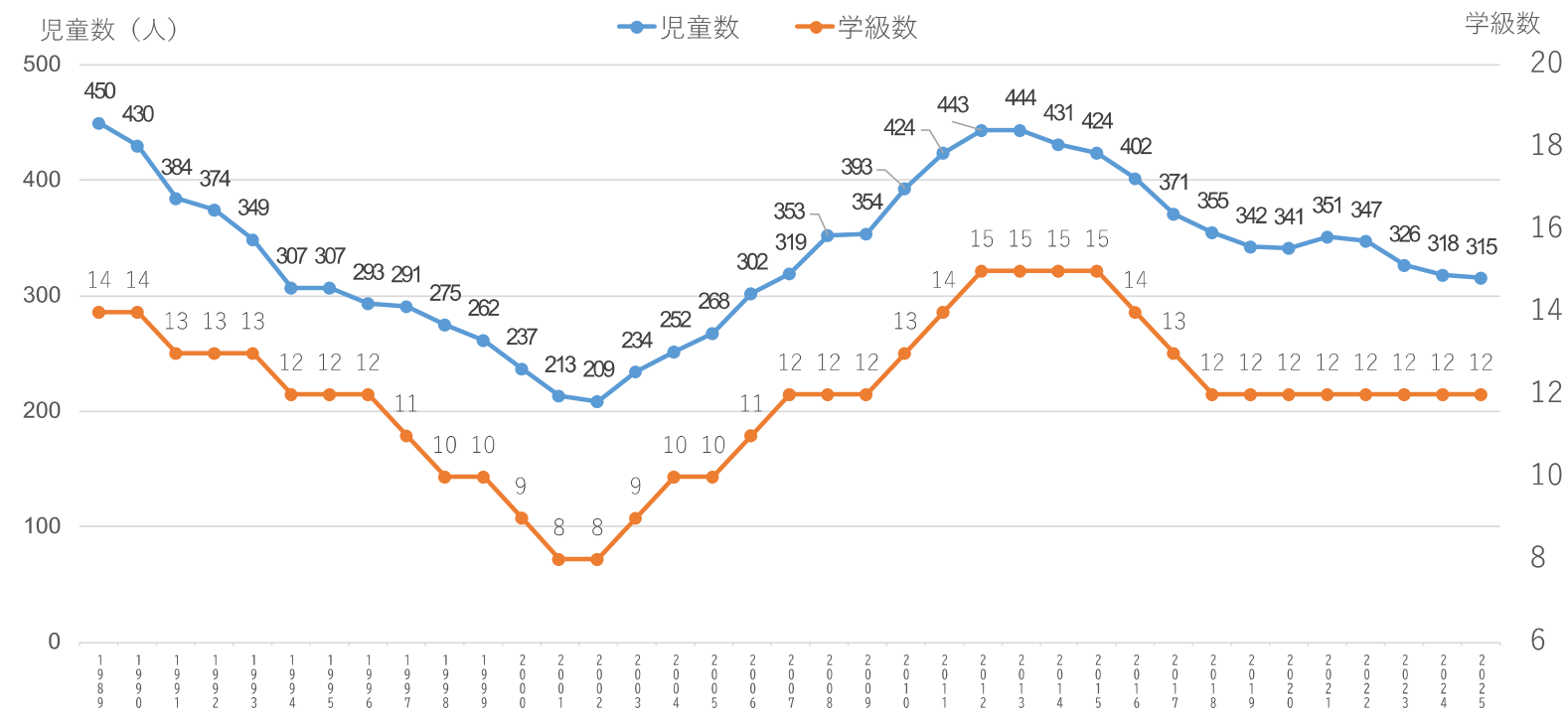
(4) 懇談会の開催状況

回数	主な議題	開催日
1	小学校の特色・概要、改築に至る経緯の説明	令和6年4月19日
2	事例見学（桃井第二小学校、杉並第二小学校）	5月28日 6月3日
3	基本方針（たたき台）について	6月26日
4	基本方針（最終案）検討と改築規模等について	8月5日
5	設計者平面計画等（たたき台）提示・説明	令和7年1月28日
6	配置・平面計画の検討（校舎配置案（たたき台））	2月28日
7	配置・平面計画の検討（校舎配置案）	4月21日
8	配置・平面計画の検討（校舎配置（最終案））	5月19日
9	配置・平面計画の検討（諸室配置案）	6月27日
10	配置・平面計画の検討・基本設計（案）（たたき台）	7月29日
11	基本設計まとめ（最終案）	9月2日

9 小学校標準建物面積と杉並第一小学校の児童数等の将来見込

※18学級規模								
※◎…学校規模に応じて面積を変更する ○…学校要望に応じて変更する								
校舎 5,743㎡	教室 2,486㎡	普通教室	◎普通教室(8m×8mを基準とする)		18室	1,152㎡		
		少人数教室	少人数教室		3室	192㎡		
		特別教室	多目的室		2室	256㎡		
		8室 870㎡	教育相談室		1室	32㎡		
			図書室		1室	166㎡		
			図工室		1室	96㎡		
			◎理科室		1室	96㎡		
			家庭科室		1室	96㎡		
			音楽室		1室	128㎡		
			準備室 11室 272㎡	理科準備室		1室	32㎡	
				音楽準備室＋器具庫		2室	64㎡	
		作品保管庫		1室	32㎡			
		図工準備室		1室	32㎡			
		サーバー室		1室	16㎡			
		家庭科準備室		1室	32㎡			
		図書準備室		1室	20㎡			
		陶芸窯室		1室	12㎡			
		多目的準備室		2室	32㎡			
		管理室 768㎡		管理室 560㎡	職員室		1室	144㎡
			休憩スペース		1室	16㎡		
			校長室・応接スペース		1室	64㎡		
			事務室（事務室倉庫含む）		1室	64㎡		
			保健室		1室	64㎡		
			会議室		1室	64㎡		
			用務・警備（主事）室		1室	32㎡		
			教材管理室		4室	32㎡		
			放送室		1室	16㎡		
			資料室		1室	64㎡		
			付属室 208㎡		印刷室		1室	48㎡
					管理倉庫		1室	32㎡
					職員更衣室		2室	32㎡
					児童更衣室		2室	64㎡
			学校支援本部・PTA室		1室	32㎡		
			プール 100㎡	プール 付属施設 100㎡	プール（25m×10m 水深0.9m～1.1m 6コース）			
	更衣室				2室	48㎡		
	WC				2室	20㎡		
				倉庫・機械室		1室	32㎡	
	その他 2,325㎡	その他諸室 2,325㎡		昇降口		2室	128㎡	
				玄関		1室	16㎡	
				学校防災倉庫		1室	64㎡	
				備蓄倉庫（帰宅困難者用）		1室	16㎡	
				職員・来賓用便所		2室	64㎡	
				児童用便所（男子7室・女子7室）		14室	448㎡	
				階段・廊下		1室	1,462㎡	
				エレベーター		3室	18㎡	
			塔屋		2室	16㎡		
倉庫・ポンプ・機械室			1室	93㎡				
特別支援教室			1室	64㎡				
室内運動場 854㎡			運動場 792㎡	アリーナ（24m×28m 高さ8m以上）			1室	672㎡
	ステージ			1室	120㎡			
	付属室 62㎡		器具庫（体育館倉庫）		1室	56㎡		
		放送室		1室	6㎡			
屋外倉庫 138㎡			屋外倉庫		1室	20㎡		
			屋外体育倉庫		1室	40㎡		
			屋外開放倉庫		1室	20㎡		
			学校防災倉庫		1室	16㎡		
			ゴミ置場		1室	10㎡		
			自転車置場		1室	14㎡		
			石灰倉庫		1室	2㎡		
			○飼育小屋		1室	16㎡		
			◎給食調理場		1室	250㎡		
			（前室、控室、シャワー室、便所等含む）					
給食調理場 278㎡	給食調理場 250㎡	◎配膳室		3室	24㎡			
		◎残菜置場		1室	2㎡			
		◎廃油置場		1室	2㎡			
学校開放諸室 173㎡	会議室等 80㎡	会議室		1室	64㎡			
		指導員詰所（校門警備）		1室	16㎡			
	附属施設 93㎡	器具庫		1室	20㎡			
		更衣室・シャワー室（男女別）		2室	40㎡			
		便所（男女）		2室	20㎡			
		誰でもトイレ		1室	5㎡			
		玄関		1室	8㎡			
その他 14㎡			屋外便所		2室	14㎡		
合計					7,200㎡			
特別支援学級					面積は収容状況による			
その他施設等					児童クラブ（1人あたり1.65㎡）			
					面積は収容状況による			

(1) 児童数・学級数の推移 1989年～2025年



(2) 今後の見込み

杉一小推計	令和7年度 ※現在	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
児童数(人)	314	329	330	334	360
学級数	12	12	12	12	12

- (1) の児童数・学級数の推移のとおり、平成元年から現在までの間は、12～15 学級で変動しており、
(2) の今後の見込みのとおり、当面は増加傾向が予想されている。

学区域には阿佐ヶ谷駅もあり、人口密度が高い地域でもあることから、少子化の流れの中でも児童数が増となる時期があることを想定する必要がある。

このため、過去 10 年で 15 学級となったこともあることから、12～15 学級での推移を見込み、普通教室は 15 室を整備することとする。

10 子どもの声アンケート・あさがやまちづくりセッション(テーマ:杉一小)

「楽しい学校づくり」をメインテーマに「杉一小のどんなところが好きか」、「どんなときに楽しいと思うか」「自分が学校をつくるとしたらどんな学校にするか」を副題として、自由記述形式（口頭含む）で行ったアンケート調査。回答を「好きなこと」、「興味があること」、「行ってほしいこと（希望・提案）」に大別し、施設や設備等にかかるハード面と、授業や給食の内容などソフト面に分類し、改築基本計画に取り込んでいる。

楽しい学校づくりって

何だろう？

すぎいちしょう こうしゃ ふる
杉一小は校舎が古くなったので、校舎をたてかえます。
みんなは、たてかえられた新しい学校が
どんな学校だいいと思いますか？

すぎいちしょう
①杉一小のどんなところが好きですか？

たの おも
どんなときに楽しいと思いますか？

じぶん がっこう
②自分が学校をつくるとしたら

がっこう
どんな学校にしますか？



参加児童数 約 300 人

令和 6 年 7 月初旬に児童配布のタブレットなどを使用して調査を実施

1～2 年生：口頭による聞き取り

3～4 年生：手書回答アンケートのデータ取込

5～6 年生：キーボードによるテキスト回答

自由意見 1641 フレーズより上位集約

施設や設備への意見や提案など

校庭を広くする	75件
エレベーター整備	60件
遊具を増やす	55件
屋内、温水プール	40件

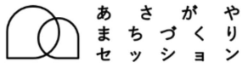
良いところや好きなこと、興味があること

給食がおいしい	41件
みんなが優しい	21件
仲がいい	18件
先生が優しい	15件

あさがやまちづくりセッションは、阿佐谷のまちの課題・将来像についてさまざまな方の思いをくみ取り、話し合い、共有・協働し、みんなでつくる新たなまちづくりの取り組みです。話し合うテーマを区民の皆様とのワークショップで決める「テーマ自由形」と、区から行政課題の検討などに向けて話し合うテーマを指定する「テーマ指定型」があり、「テーマ：杉一小」として 2 回開催した。



みんなでつくる
新たな
まちづくりの
取組が、
始まります。



子どもたちが輝き、地域とともに学びを創造する
オンリー1があふれる学びのプラットフォーム 杉一小



1 回目 参加者 24 人

令和 6 年 6 月 9 日（日）

14：00～16：15

杉並区役所第 5・6 会議室

ワークショップ形式

意見（抜粋）

- ・杉並区をリードする小学校になってほしい
- ・世界のモデルになるデザイン等一流で一番の小学校
- ・あさがお活動の継続(駅近)、地元商店街との社会勉強提案
催し物に小学校を取り込む(七夕まつり、ジャズフェスティバル)お祭り等地域住民との関わりを持てる様なイベント、
イベントでの関わりを大切に

2 回目 参加者 37 人

令和 7 年 1 月 31 日・2 月 1 日

17：00～20：00、9：00～12：00

杉並区産業商工会館 展示室

オープンハウス形式

意見（抜粋）

- ・非常に良い機会であると思います。今後も継続していただきたく。
- ・展示を見て、新しい校舎のイメージがよくわかった。それにしても、スペースが少いのが残念！
- ・小学校の建設について非常に科学的に行われているのに驚きました。皆が誇れるような利用しやすい建設をしてほしいですね。雨の処理に驚きました。

改 築
基本方針

子どもたちが輝き、地域とともに学びを創造する オンリー1があふれる学びのプラットフォーム 杉一小

ビジョン2

災害に強く、防災の要となり、持続可能な自然環境に配慮した施設とする。

目標5

自然災害に備えた堅牢で安全な場を確保し、防災拠点としての機能が十分に発揮される施設とする。

取組

- ・子どもたちと地域の防災教育と意識向上に活かせる施設とする。
- ・発災時に迅速かつ安全に避難できる施設とする。
- ・防災井戸やマンホールトイレを備える等、震災救援所として必要な整備をする。
- ・浸水被害を抑止し、防災拠点として、地域との連携が速やかに行える施設とする。
- ・校内に必要な備蓄品を確保する。

目標6

自然に配慮し、周辺地域と調和した、環境にやさしい施設と設備とする。

取組

- ・ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)化やエコスクール等に対応し、環境教育にも配慮した施設とする。
- ・景観と調和し、花と緑を楽しめる空間を整備する。
- ・自然環境との調和に配慮し、武蔵野の屋敷林の面影が残る、自然教育に適した場を創出する。
- ・周辺地域の住環境に配慮した施設とする。

ビジョン1

豊かな教育環境を目指し、子どもたち一人ひとりが輝ける、安全で安心な学び舎をつくる。

目標1

子どもたちが自ら考え判断する力を伸ばし、進んで学び、充実して過ごすことができる学習環境を整備する。

取組

- ・全ての子どもたちが学び合い、可能性を引き出す個別最適・協働的な学びとなる多様な学びのスタイルに適應できる施設とする。
- ・学校図書館や理科室等の特別教室を、子どもたちの好奇心を刺激する造りにする。
- ・ICT教育環境の充実と、円滑な授業運営に対応できる基盤を整備する。

目標2

自他を尊重し、あたたかく人間性豊かで、多様な体験を子どもたちに提供できる教育環境を整備する。

取組

- ・学年を超えた交流ができ、地域の力を活かした杉一らしい、学びと憩いの空間を設ける。
- ・光、風、緑を感じ、木の温かみが実感できる造りとする。
- ・多文化共生とユニバーサルデザインに配慮した施設とする。
- ・命の尊さを伝え、自然観察にも繋がる動植物と触れ合える場を拡充する。
- ・歴史と伝統に相應しい、杉一小の顔となる場を設ける。

目標3

子どもたちが明るく活発に、のびのびと心と体の健康づくりに主体的に取り組めるような活動の場を整備する。

取組

- ・防塵機能を備えた、広く良好な環境の校庭整備を行うなど、子どもたちがのびのびと運動し、羽を伸ばせる空間を設ける。
- ・ジュニアバンド等の活発な音楽活動や資機材の運用にも耐えうる、防音に対応した十分なスペースを設ける。
- ・思い切り体を動かして利用できる遊具を充実させる。
- ・更衣室やロッカー等、子どもたちの自立につながる空間や環境を整備する。

目標4

安全に配慮し、高いセキュリティを備え、子どもたちや教職員が安心して快適に過ごせる環境を整備する。

取組

- ・子どもたちを守る防犯カメラ等の安全設備を設け、充実したセキュリティを備える。
- ・諸室の配置や造り、収納スペースの充実、教職員の働きやすさも考慮する。
- ・冷水機や簡易に腰掛けられる場所等を要所に設けるとともに、リラックスできる環境を整備する。
- ・緑豊かで安心して通れる歩行者空間を整備する。

ビジョン3

世代を超えて多様な区民が出会い、自発的で協働的な関係が広がる学びを創造できる場にする。

目標7

地域と共に歩んできた伝統と特色を継承し、子どもを真ん中に地域のかかわりを広げ、次代を創る学びに柔軟に対応できる、持続可能な造りとする。

取組

- ・学校を支える地域の関わりと、活動支援の促進を図るため、関係諸室を充実させる。
- ・地域が子どもたちと共に歩き支えるすぎっ子くらぶや放課後の居場所となる場を整備する。
- ・児童数や教育カリキュラム等、将来の変化に対応できる柔軟性を確保する。
- ・文学と文化が息づく阿佐谷のまちと調和した学び舎とする。

目標8

多様な施設・設備を活用し、賑わいのあるまちと共生し、多世代が学び合える施設とする。

取組

- ・子どもたちの学びと区民の多様な学びが共存できるよう、子どもたちの活動に支障をきたさない諸室配置と動線確保を行う。
- ・駅に近い利便性を活かして、多様な利用者を想定し、区民の学びや交流の場としても活用できる施設計画とする。
- ・阿佐谷ジャズストリート等、イベントで利用できる、地域に開かれた施設とする。

12 杉並区立杉並第一小学校併設1施設移転改築工事設計等業務委託公募型プロポーザルの実施

区では、当該工事を進めるにあたり、杉並区立杉並第一小学校改築検討懇談会を立ち上げ、学校関係者、在校児童、地域住民の声を集約し、基本方針を検討し策定しました。

これらの意見と基本方針が示す目指すべき学校像を具現化し、工期順守を確実に履行し、これからの時代にふさわしく、更には将来を見据えた小学校の整備を行うため、理解と知識があり、高度な技術力と豊富な経験を有する設計者の手で設計を行つために本工事設計等業務について、プロポーザル方式（公募型）で受託者を選定しました。

(1) 選定委員名簿

職 名 等	氏 名
首都大学東京 名誉教授	深尾 精一（会長）
早稲田大学 創造理工学部 建築学科 教授	高口 洋人
東京学芸大学こどもの学び困難支援センター 准教授	入江 優子
杉並建築会	林 美樹
杉並区教育委員会事務局 次長	岡本 勝実
杉並区教育委員会事務局 学校整備・支援担当部長	高山 靖
杉並区都市整備部 部長	中辻 司

(2) 選定経過

令和6年 9月 5日	選定委員会の設置
9月11日	公募開始
10月 7日	公募締切り
10月28日	第一次審査（書類審査）（3事業者）
12月15日	第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング審査） 受託者候補者の選定

(3) 選定事業者

株式会社日総建
東京都渋谷区幡ヶ谷1丁目34番14号

(4) 参加事業者と審査結果

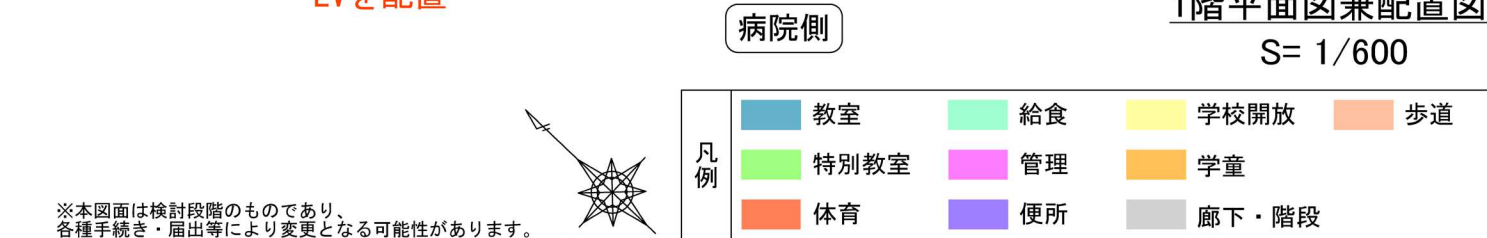
株式会社 日総建、株式会社 三上建築事務所、株式会社 横河建築設計事務所

第一次審査 書類審査	評価項目	配点	A 社	B 社	C 社
	経営状況等	24	15	21	24
	社会課題、労働環境への配慮	16	8	10	8
	応募者の同種、同類の実績	36	31	27	35
	ZEB 化等実績	8	6	4	8
	総括責任者等の資格及び実績	24	24	24	24
	基本方針の理解と意欲	40	31.14	29.43	33.57
	第一次審査合計 （評価点/配点合計）	148 100%	115.1 77.8%	115.4 78.0%	132.6 89.6%
第二次審査 プレゼンテーション ヒアリング	ビジョン1の技術提案評価	48	31.3	38.6	40.7
	ビジョン2の技術提案評価	24	15.4	19.3	21
	ビジョン3の技術提案評価	24	16.3	21	21
	課題取組と解決、工程等の効率性等	36	24.3	31.1	31.6
	工費削減、縮減	20	12.9	17.6	17.7
	総合評価	60	37.9	49.3	52.1
	第二次審査合計 （評価点/配点合計）	212 100%	138.0 65.1%	176.9 83.4%	184.1 86.9%
第一次審査・第二次審査 総計 （評価点/配点合計）		360 100%	253.1 70.3%	292.3 81.2%	316.7 88.0%

13 校舎配置案ごとの特徴比較

校舎配置案			A校舎病院側案	B校庭病院側案	Cその他1	Dその他2（1の左右逆）
● 普通教室 ● 体育館 ▲ 学校正面口 ▲ 車両出入口（緊急時） ▲ 車両出入口（給食搬入用） --- 冬至13時の影 --- 学校用地 ⊕ 道路面の高さ ※敷地右上端の最も地盤面の低い場所を基準とします。 ※赤字は第6回懇談会資料からの変更箇所を示します。						
No	項目	条件				
1	床面積	プールは屋外	・約7700㎡（プール除く） ・まとまりのある校舎配置となることで、廊下面積が少ない。 ・全ての普通教室前にワークスペースを設ける余地あり。	・約7800㎡（プール除く） ・まとまりのある校舎配置となることで、廊下面積が少ない。 ・階が増えるため、階段等の面積が多い。 ・一部にワークスペースを設ける余地あり。	・約7800㎡（プール除く） ・横に長い校舎となることで、廊下面積が多い。 ・一部にワークスペースを設ける余地あり。	・約7800㎡（プール除く） ・横に長い校舎となることで、廊下面積が多い。 ・階が増えるため、階段等の面積が多い。 ・一部にワークスペースを設ける余地あり。
2	階数	建築面積2700㎡以下	・5階（屋上プールの更衣室と機械室が5階）	・6階（屋上プールの更衣室と機械室が6階）	・5階（屋上プールの更衣室と機械室が5階）	・5階（屋上プールに加え一部特別教室、更衣室、機械室が5階）
3	普通教室配置	十分な日照のある位置に配置	・校庭向きに15室、窓は東北向き。	・校庭向きに15室、窓は西南（病院側）向き。	・校庭向きに15室、窓は東南向き。	・校庭向きに15室、窓は西北向き。
4	普通教室採光		・午前の採光は良。午後にかけて陰る。	・午前は陰る。午後の採光は良。西日が入る	・午前の採光は良。午後にかけて陰る。	・朝方の採光は良。午後から陰る。
5	児童昇降口		・昇降口は正門に近い。校庭外の昇降口前スペースを広くでき、広い雨除け整備も可。	・昇降口は正門から遠い。校庭外の昇降口前スペースも狭い。広い雨除けは整備できない。	・昇降口は正門に近い。校庭外の昇降口前スペースを広くでき、広い雨除け整備も可。	・昇降口は正門から遠い。校庭外の昇降口前スペースも狭い。広い雨除けは整備できない。
6	高低差		・校舎周辺は大きな高低差なし。	・校舎周辺に高低差あり、階段等が必要。	・校舎南側は周囲と大きな高低差がないが、北側は高低差があるため、階段等が必要。	・校舎南側は周囲と大きな高低差がないが、北側は高低差があるため、階段等が必要。
7	車両出入口	給食用に車両出入口を1箇所整備	・道幅11mの病院側道路からの車両出入。	・道幅9mの住居側道路からの車両出入。	・道幅11mの病院側道路からの車両出入。	・道幅11mの病院側道路からの車両出入。
9	広さ	既存1800㎡×1.5倍以上	・約2,700㎡ ※現校庭の1.5倍	・約2,630㎡ ※現校庭の1.46倍	・約2,070㎡ ※現校庭の1.15倍	・約2,250㎡ ※現校庭の1.25倍
10	トラック	100mトラックと50m走路	・100mトラックと50m走路。	・100mトラックと50m走路。	・80mトラックと50m走路。	・80mトラックと50m走路。
11	日照		・冬季、午前中は良。午後にかけて陰る。 ・春にかけて日照は改善し、15時でも半分程の日照がある。	・冬季、常に一部又は概ね全体が陰る。 ・春にかけて日照は改善し、15時でもほぼ全域で日照がある。	・冬季、午前中は良。午後にかけて陰る。 ・春にかけて日照は改善するが、15時の日照は1/3程度。	・冬季、常に一部又は概ね全体が陰る。 ・春にかけて日照は改善し、15時でも2/3以上日照がある。
12	見通し		・普通教室、職員室等から全周を確認できる。	・普通教室、職員室等から全周を確認できる。	・普通教室、職員室等から全周を確認できる。	・校庭の端の確認がし難い。
13	車両アクセス	校庭整備用に車両出入口を1箇所整備	・北側一方通行道路のみ。 ・高低差が小さい為、アクセスし易い。	・西側相互・一方通行道路に面する。 ・高低差が小さい為、アクセスし易い。	・南側一方通行道路のみ。 ・高低差が大きい為、アクセスし難い。	・北側一方通行道路のみ。 ・高低差が小さい為、アクセスし易い。
14	校舎からの音		・住居に隣する教室開口部が少なく、音の影響は最も少ない。特別教室は病院側。	・特別教室等が住居側に開口部を多く有する。プラスバンドなどの練習に対し配慮が必要。 ・給食調理室の運用にも住居への配慮が必要。	・特別教室等が北住居に隣して開口部をある程度有する。廊下でのプラスバンド練習は配慮が必要。	・校舎の特別教室等が南住居に隣して開口部をある程度有する。廊下でのプラスバンド練習は配慮が必要。
15	校庭からの音・砂埃		・住居に対しては、図中の左右、上の3方に漏れやすい。	・住居に対しては、図中の左右の2方に漏れやすい。 なお、拡声器は病院棟の反響に配慮を要する。	・住居に対しては、図中の上・右の2方に漏れやすい。	・住居に対しては、図中の上・左の2方に漏れやすい。
16	日影		・冬季 朝に北西の一部住居に影がかかる。	・冬季 北西から影がかかり、夕方の北東は広範囲にかかる。	・冬季 北西から北東にかけて影がかかる。	・冬季 北西の一部と、夕方に北東に長く影がかかる。
17	街との関わり		・学校正面口は中杉通り方向。 ・正門前に屋根のあるまちかど広場を設置できる。	・学校正面口は北西側住居方向。 ・正門前は校舎と校庭で段差があり、屋根のある広場の整備は難しい。	・学校正面口は北西側住居方向。 ・正門前は狭いが、校舎のビロティで屋根のある広場を整備できる。	・学校正面口は西側住居方向。 ・校庭確保のため正門前は狭くなるため、屋根のある広場の整備は難しい。
18	避難所アクセス	体育館	・校舎が西側相互通行道路に面するため、人、車両共にアクセスが容易。 ・体育館に向かって道路面はやや上勾配。高台に向かって避難。	・校舎が北側一方通行道路に面するため、車両にアクセス制限が出る。 ・体育館に向かって道路面は下勾配。低地に向かって避難。	・校舎が南側相互通行道路に面するため、人、車両共にアクセスが容易。 ・体育館に向かって道路面は上勾配。高台に向かって避難。	・校舎が南側相互通行道路に面するため、人、車両共にアクセスが容易。 ・体育館に向かって道路面は上勾配。高台に向かって避難。
19	浸水対策	校舎及び体育館	・想定浸水深からみて高い地盤側を中心に校舎を建てて対策。	・校舎1階が想定浸水深よりかなり低く、止水板等による対策が必要。	・想定浸水深からみて高い地盤側から低い位置にかけて校舎を建てるが、高い面に校舎1階を合わせて対策。	・想定浸水深からみて高い地盤側から低い位置にかけて校舎を建てるが、高い面に校舎1階を合わせて対策。
20	雨水流出抑制		・校庭が敷地内で低い位置にあるため、校庭への一時貯留や雨水貯留浸透施設の効果が出やすい。	・校庭が敷地内で高い位置にあるため、校庭への一時貯留や雨水貯留浸透施設も、東側には効果が出にくい。 ・校庭を切り下げの場合、道路面に1m前後の段差ができる。	・校庭が敷地内で低い位置にあるため、校庭への一時貯留や雨水貯留浸透施設の効果が出やすい。	・校庭が敷地内で低い位置にあるため、校庭への一時貯留や雨水貯留浸透施設の効果が出やすい。

校舎配置検討案 A ※採用案



基本設計まとめ

